

(別紙4(2))

事業所名 : グループホームきらめきトグチ

作成日 : 令和 4年 1月 17日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価、及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題の焦点化が難しくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6(5)	身体拘束をしないケアについて、就寝時にベッドの開閉レバーを使用しないと安眠できない利用者があり、委員会での検討と家族にも相談の上、夜間のみ短時間で開閉レバーを閉じている利用者がある。説明書を整備し、家族への説明も行っているが、「経過観察・再検討記録」が確認できなかった。	入所者、家族の希望であっても「切迫性」、「非代替性」、「一時性」の要件を確認し、「経過観察・再検討記録」の整備を行っていく。	・社内の研修委員会と連携し、身体拘束をしないケアについての研修を行う。 ・入所者の希望であっても「経過観察・再検討記録」の必要性があることをスタッフに周知し、経過観察表と再検討記録の整備を行う。	6か月
2					か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目の番号を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。